

平成29年度
札幌保健医療大学
卒業証書・学位記授与

学長挨拶

札幌保健医療大学
学長
稲葉 佳江

2018年3月13日、札幌保健医療大学保健医療学部看護学科第2期生85名の卒業式を挙行之、多くの保護者、関係者のご参列するなか無事終えることができました。開学後の5年間、さらに昨年度の栄養学科開設に際し、さまざまな形でご支援、ご指導頂きました関係者各位に改めて感謝申し上げます。

4月3日、本学入学式を挙行之、看護学科6期生123名、栄養学科2期生22名が入学し、希望に満ちた生活をスタートさせ、看護学科と栄養学科の学生らが合同で講義を聞き、学科の垣根を越えてグループ学習を行なうなど、充実した大学生活を送っています。

札幌保健医療大学は、平成29(2017)年度より栄養学科を新設し、新たなスタートを切りました。栄養学科で養成する管理栄養士は、現在、地域住民の健康寿命の延伸に食生活の重要性が注目されるとともに、医療機関や在宅医療の現場で病者の健康状態を専門的に分析した栄養と食生活管理面から医療の一翼を担っています。また、近年ではスポーツ界での選手に対し専門的で科学的な分析に基づいた栄養管理の実績が評価され、保健医療分野の多岐にわたり期待されています。本学は、看護師・保健師と管理栄養士が互いの専門性の理

解と連携を強化し、北海道の保健医療福祉に貢献したいと思っています。

本学では、教育理念「人間力教育を根幹とした医療人の育成」を掲げ、学生の一人一人が人間力を如何なく発揮し、人間力のある医療人として育ってほしいと願い、教育実践しています。この教育実現のために、保護者の皆さまとの本学教育理念の共有、保護者のニーズに適った情報の提供、学生中心の連携を図っていくことが重要と考えています。本学は看護師・保健師、管理栄養士の国家試験受験資格を付与する責任上、学生の学修面等に何らかの課題や気がある場合には、学担教員からの面談・指導を行い、必要に応じて保護者に連絡・報告し、保護者と連携して学生に対応することとしています。特に、高学年に進むと、国家試験準備が本格的になり、学生指導もより綿密になります。看護学科は、昨年度看護師国家試験合格率97.6%（既卒者100%）、保健師国家試験合格率100%といずれも2年連続で全国平均合格率を上回りました。これを継続するためにも、11月開催の保護者懇談会は学業や就職に関する情報や大学生活情報の提供、個別懇談による保護者との情報共有等の学生支援にとって大切な機会となります。保護者の皆さまとの協力体制があっての合格の道です。できるだけ多くの方々の参加をお願いしたいと思います。

また、栄養学科では、製菓業「もりもと」と共同で北海道生産物での商品開発、レバング北海道と栄養サポートパートナー協定締結により栄養学科と看護学科の共同で支援を始めました。学生も関心のあるフィールドでボランティア活動に参加し、快活に大学生活を送っております。今後も、札幌保健医療大学へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

CONTENTS

学長挨拶	1
2期生の卒業証書・学位記授与式	2
活動紹介	3
学生支援について	5
学内行事報告	6
クラブ活動報告	7
国家試験結果・就職状況・入試結果報告	8



第2期生の卒業証書・学位記授与式が2018年3月13日（火）、札幌コンベンションセンターにて執り行われました。

卒業生85名、一人ひとりに学長から卒業証書・学位記が授与されたのち、学長式辞、理事長祝辞につき、同窓会会長 星野様から祝辞をいただきました。

卒業生を代表して、平藤真緒さんが社会人としての決意を述べました。

来賓、保護者の皆さまから盛大な祝福を受けるなか、友や恩師との別れを惜しみつつ、学び舎をあとに、それぞれ新たな一歩を踏み出していました。



2期生の 卒業証書・ 学位記授与式



卒業生謝辞



吹き渡る風にも春の暖かさを感じられる季節となった今日のよき日に、私達は新たな進路に向け、大きな喜びと共に、晴れやかに旅立ちの日を迎えることができ、卒業生一同大変嬉しく思っております。

学長をはじめ教職員の皆様、本日はこのような盛大な卒業式を挙行して頂き、深く感謝申し上げます。また、ご多忙の中ご臨席下さいましたご来賓の先生方にも心よりお礼申し上げます。先ほど、諸先生方からの温かいご祝辞と激励の言葉を承り、私達に寄せられる期待と与えられた使命の重さを実感し、身が引き締まる思いです。

思い返せば、四年前の春。私たちは看護の道に進む喜びと新しい仲間との出会い、これから始まる大学生活への期待と不安に胸を膨らませ、入学して参りました。初めて触れる専門用語、看護技術や態度と、学ぶべきことの多さに戸惑う日々が続きました。入学当時は長いと感じていた大学生活も、本日で最後だと思うと、あまりの早さに驚いてしまいますが、過ぎ去った日々は貴重な思い出に満ちています。

臨地実習では、医療従事者の皆様、患者さんとそのご家族、新しい生命との出会いがあり、私達の看護の学びを深めてくれるものでした。自分達の知識や技術の未熟さにより、十分なケアを提供できないもどかしさや、指導者からの厳しい指導に涙することもありました。また、実習記録や病態生理、援助の学習等に追われ、自分の選んだ道は本当に正しかったのだろうかと思ったりもしていました。しかし、今この場に立つことができるのは、私達を温かい言葉や笑顔で受け入れてくださった患者さん、的確な助言をくださった指導者や先生方、共に悩み、励まし合ってきた仲間、どんな時も私たちを支えてくれた家族のおかげです。本当に多くの方々の支えがあったからこそ、この4年間を乗り越えることができたのだと思います。4年間を通して、私達は、看護師・保健師の役割と責任の重さを感じると共に、その素晴らしさにも気付くことができました。これまでに会った全ての患者さんへの感

謝の思いを胸に、これから看護の臨床現場へ進んでいきたいと思っています。

教務の先生方には、私たち2期生の入学当時は団結力に欠ける部分もあり、多くのご迷惑をおかけしました。国家試験対策に際しても、なかなか成績の上がらない私達に、先生方全体で対策を講じていただきました。学習の場を提供して下さい、忙しい中で補講をして頂き、丁寧に教えてくださった先生方の支えがあったからこそ2期生全員が一団となり、励まし合い、国家試験の本番を迎えることが出来ました。

こうして4年間を振り返り、ここにいる仲間とどんな時も同じ目標に向かって今日まで共に歩んできました。日々の講義や実習、体育大会や大学祭等を通して、私達の絆は次第に深まってきました。これらの経験やここにいる仲間との出会いは、私達にとって大きな糧であり、かけがえのない財産です。本日、私たちは、この札幌保健医療大学を卒業します。私達は新たな第一歩を踏み出しますが、4年間の学びや思い出を胸に、自分達の選んだ道をしっかりと歩んでいきたいと思っています。

今後、医療人として多くの患者さんと接していくことになります。本学で培った知識や技術はもちろんのこと、豊かな人間性を育み、どんな時にも患者さんの気持ちに寄り添うという姿勢を忘れずに、社会に貢献できる医療人を目指し、一人ひとりが務めを果たせるよう努力いたします。

最後になりますが、いつも私達の傍で励まし続けて下さいました諸先生方や職員の皆様に、改めてお礼を申し上げるとともに、大学卒業を迎えた今日まで私たちの成長を見守り続けてくれた両親・家族に感謝いたします。

以上、札幌保健医療大学の更なる発展を願い、簡単ではございますが、謝辞とさせていただきます。

平成30年3月13日

卒業生代表 保健医療学部看護学科 平藤真緒



活動紹介



入学式

2018年4月3日（火）に、札幌市中央区の「かでの2.7ホール（北海道立道民活動センター）」において、平成30年度札幌保健医療大学入学式を挙行了しました。

今年度は、看護学科123名、栄養学科22名合わせて145名が入学いたしました。入学式後は、保護者説明会と後援会の定期総会を開催し、多数の保護者のみなさまにご出席いただきました。



新入生歓迎会

2018年4月11日（水）、学友会主催の新入生歓迎会を開催しました。学友会の学生が中心となり、入学して間もない新入生に向けて、在学生からサークル紹介や大学生活のアドバイスなどを行いました。ゲームで盛り上がったあとは、学科と学年の垣根を越えた賑やかな交流が見られました。



2年次生対象の「グロウアップセレモニー」を開催

11月下旬から開始される2週間の「看護基礎実習Ⅱ（病院実習）」に先立ち、2017年11月11日（土）に2年次生と保護者を対象とした「グロウアップセレモニー（Grow-up Ceremony）」を開催しました。

このセレモニーは、4年間の学修の節目として、本格的な臨地実習を前に学生一人ひとりがこれまでの学修を振り返り、看護職への学びの意思を確認する目的として開催したものです。

今年度は、旭川医科大学付属病院で看護部長兼副院長として長年にわたり臨床一筋にご活躍され、現在は公益社団法人北海道看護協会会長を務めていらっしゃる上田順子先生をお招きし、ご講演をいただきました。

上田先生は、ご自身のご経験を通して、看護の魅力、看護師に求められる使命や役割をお話くださいました。学生からは、「上田先生の体験を聞き、まずはやってみるということの大切さを学ぶことができた」「たとえ学生でも患者さんの前では、一人の看護者である」という上田先生の言葉に気持ちを新たにできた」などの感想が寄せられました。

また、講演会終了後、看護学科2年次生を代表して岩本朱音さんから看護基礎実習Ⅱに向けて、決意表明があり、最後にセレモニーの記念として学長から2年次生へ「ナースウォッチ」の贈呈がありました。





栄養学科開設1年目の動き

01 レバンガ北海道と 栄養サポート協定を締結

2017年9月21日(木)に本学とレバンガ北海道が栄養サポートパートナー協定を結びました。レバンガ北海道選手の栄養管理マネジメント等を本学が担い、スポーツ栄養の現場に在学中から学生が触れることのできる貴重な機会となります。



02 大学農園での 栽培加工体験

本学には「WILL FARM」「札幌FARM」2つの大学農園があり、教員と学生が札幌の伝統野菜を栽培しています。自分たちで育てた野菜を収穫し、調理・加工、そして消費するところまで、管理栄養士の基礎となる食を「作るところ」から学ぶことができる環境です。



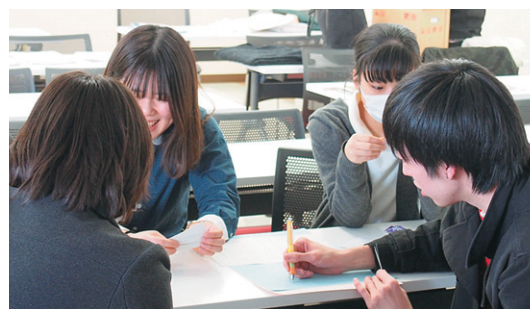
03 民間企業、 学外との交流

本学の調理実習では学外からも講師をお招きし、実践的な調理実習を行っています。商品・メニュー開発など企業との協同企画も積極的に実施しています。またお祭りやイベントで健康相談を行うなど、地域の人々との交流も行なわれています。



04 栄養教諭一種免許の 取得が可能に

2017年12月に栄養学科教職課程が文部科学省より認定されました。卒業要件に含まれる科目の履修に加えて、必要な科目の単位を修得することで、小・中学校で児童や生徒に食の指導を行ったり、学校給食の管理・運営に携わる栄養教諭一種免許状を取得することができます。



看護学科保健師教育について

本学では、看護学科定員100名のうち20名が選択制で保健師国家試験受験資格を取得することができます。保健師をめざす学生は、3年次前期に選抜があります。選抜基準は「保健師への興味・関心及び学習意欲が

認められること」、「2年次までに必修科目のすべての単位を修得し、2年次までの専門科目(必修)の全科目の成績評価においてGPAが原則2.5以上であること」などです。選抜された学生は、公衆衛生看護学に関す

る科目および指定する科目について学びます。それらの科目の単位を修得した人は、保健師の国家試験受験資格を取得することができます。

学生支援について

本学は、学生一人ひとりが4年間の学習の積み重ねにより自己の目標を明確にして生涯学習し続ける専門職業人の育成を目指しています。キャリア支援は、専門職業人として歩み出す関門である「国家試験対策支援」、そして卒業後のキャリア形成としての「進学・就職支援」を行っています。

看護学科

看護学科では、学年進行に対応した活動を計画し実施しています。

学年	国家試験対策支援	進学・就職活動支援
1 年 次	入学時ガイダンスでは看護師、保健師、助産師の看護職を目指して入学した学生に国家試験の概要をわかりやすく説明します。 学生は、日々の科目を確実に修得する意義を理解します。	11月には看護師、保健師、助産師の先輩を講師として招き、実際の仕事に関する講話を聴きます。学生は、それぞれの職種についての理解を深め、自分の進路を考える参考とします。
2 年 次	4月のガイダンスでは、「国家試験対策ガイダンス-2年次用-」リーフレットをもとに、2年次の学習の特徴と国家試験について理解を深めます。学生国家試験対策委員会を中心に話し合い、秋には低学年模擬試験に挑戦します。	4月のガイダンスでは、「就職活動ガイダンス-2年次用-」リーフレットをもとに、将来の進路を自分で考え、自分で選択する大切さを理解します。 さらに、進学・就職活動の基本を学びます。
3 年 次	4月ガイダンスでは、業者による「国家試験ガイダンス」を受講し、秋には模試・補講を体験します。 実習スケジュールに対応した実習の事前学習課題に取り組み、実習での学びが国家試験対策に繋がるように学習します。また、学内にはいつでも利用できる国家試験WEBサービスや10回にわたるDVD聴講講義の環境が整っています。	4月と11月に業者による「就職セミナー」を開催します。1回目は、就職活動に向けての心構えやその第一歩となる実習マナーと身だしなみ等を受講します。2回目は就職事情や就職活動の進め方について受講します。 進学や就職の相談は、担任はもちろんのこと、キャリア支援室常駐の職員にいつでも相談できます。
4 年 次	本格的な国家試験対策がはじまる4年次では学生4名につき看護課題研究の担当教員が1名ついて丁寧に個別指導します。業者による模試・補講の他に、学内教員による補講を取り入れながら全面的にサポートする環境を整えています。	4月ガイダンス時には「就職活動のてびき」の冊子をもとに就職活動の一連のプロセスをわかりやすく説明します。看護課題研究担当教員、職員、キャリア開発委員が連携して学生の就職活動をサポートします。また、業者による小論文、面接対策講座を開催し安心して就職試験に臨める体制づくりをしています。

栄養学科

国家試験対策支援

管理栄養士国家試験は3月上旬に実施され、3月末に合格発表となります。国家試験合格のためには日々の学習の積み重ねはもちろんのこと、効率的な対策が必要です。

1年次から学習進度に応じた国家試験対策を実施し確実に合格を目指します。

具体的には、1年次では、管理栄養士国家試験の概要や4年間の効率的な勉強法、タイムスケジュール等について指導します。また、1年次は専門科目を学ぶための基礎となる専門基礎科目が配置されています。学生には、1年次に配置された科目の知識を定着させることが国家試験対策に対応した実力をつけることを教示し、専門基礎分野（社会・環境と健康、人体の構造と機能及び疾病の成り立ち、食べ物と健康）の科目を担当する専任教員を中心に、一人ひとりの理解度に応じた指導を継続的に行います。

就職活動支援

自分自身で進路・就職を選択決定できるように情報の収集・伝達をしながら社会人として踏み出せるようにキャリア支援担当教員や学年担任を中心とする専任教員と進路支援課（キャリア支援担当）の協力体制のもとでサポートします。

社会的・職業的自立を図るために、1年次から年次毎のプログラムを実施します。

1、2年次では、グループワークを通じて、社会と自分自身との関わりや仕事や職業について考え、働くということの意義を学ぶ機会を設けます。2年次では職業適性テストの実施も計画しています。

3年次では、企業研究・業界研究を通じて管理栄養士の専門職として働くフィールドについて理解を深めます。

管理栄養士の就職先は、病院や医療福祉施設の他、企業、公務員など多岐にわたるため、3年次後半から4年次前半にかけて、公務員試験（地方自治体等栄養士・栄養教諭）志望者向けのガイダンス、一般企業向け就職筆記模擬試験、時事対策講座等を計画しています。キャリア支援室では、就職試験受験相談や履歴書添削、模擬面接を受けることができます。



1年次対象の「三職種講演」に卒業生が登壇

2017年11月2日（木）に看護学科1年生を対象とした「三職種講演」を実施しました。

この講演会は、学生が看護職（看護師、助産師、保健師）のお話を聴き、自身の将来の方向性、就職を選択するための一助となるよう毎年開催しているものです。

今年も実際に看護職として従事されている助産師・保健師の方をお招きしました。

そして看護師は2017年3月に本学を卒業した第1期生の2名に、看護師を目指したきっかけや現在の業務内容、大学での勉強についてなど卒業生ならではの視点でお話をいただきました。



札幌保健医療大学学業成績優秀者給付奨学金について

本学では、学力、人物ともに優秀で他の学生の模範となる学生を選考し、学生の経済的負担の軽減と看護・栄養専門職の育成を目的とした授業料減免型の給付制奨学金

を支給します。2～4年次生を対象として人数は若干名です。該当者は、後期に授業料の一部が免除となります。卒業後においても返還の義務はありません。学業成績優

秀者の決定は6月を予定しており、2017年度は2～4年次の各2名に給付されました。



学内行事報告



体育大会について

2017年5月11日(木)に札幌市東区のスポーツ施設「つどーむ」にて体育大会を開催しました。

今年で4回目となる体育大会には入学したばかりの看護・栄養両学科の1年生も主体的に参加し、学科・学年を越えた交流を図りました。学生と教職員が全8チーム分かれた対抗戦では「玉入れ」「台風の目」「障害物競走」「チーム対抗リレー」の各競技に汗を流し、学科も学年もばらばらのチーム同士で親睦を深める良い機会となりました。



オープンキャンパスについて

2017年度のオープンキャンパスは、6月～3月にかけて看護・栄養両学科が合同で5回開催しました。

栄養学科の1年生もスタッフとして多数参加。両学科ともに体験演習や先輩とのトークといったこれまで通りのイベントはもちろん、ランチでは栄養学科教員が企業と合同で開発したお弁当を提供。また10月7日(土)の大学祭同日開催の際は栄養学科参加者に大学農園で獲れた野菜のスープも提供するなど、開設したばかりの栄養学科の取り組みを知っていただくきっかけにもなりました。

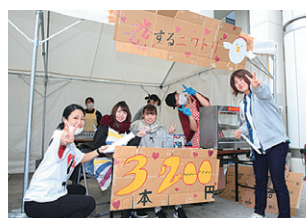
2018年度のオープンキャンパスは看護学科と栄養学科合同・各学科個別に開催し、より本学両学科の魅力や特徴を体感してもらえるプログラムを企画する予定です。



大学祭について

2017年10月7日(土)、8日(日)に第4回大学祭を開催しました。

「めばえ～鶴は千年、亀は万年、札幌は永年」というテーマのもと、栄養学科の1期生を加え新たな試みも実施されました。模擬店や看護体験演習などこれまでの催しに加え、ゲストを迎えたライブやサークル代表対抗戦、栄養学科による大学農園で獲れた野菜を使用したスープ販売、学生考案のレシピ無料配布なども行われました。



また、7日(土)は第4回のオープンキャンパスも同日開催。約150名の方が参加され、終了後は模擬店を回ったり公開講座に参加したりするなど、大いに賑わいました。

学生会主体の大学祭も4回目を迎え、栄養学科学生の参加によりこれまで以上の盛り上がりを見せました。学年・学科を越え学内外の様々な人と交流する学びの場にもなっています。

クラブ活動報告

本学では、人間力のある医療人の育成をめざしており、クラブ活動は学生たちの人間形成の成長に大きな役割を担っていると考えています。学生たちの自主的な活動により、開学6年目で現在、体育系7団体、文化系6団体の同好会・愛好会が活動しています。栄養学科2期生を迎え、更に活発な活動が期待されます。



フットサル

代表 宮慶のいり
部員数 ♂28 ♀45
活動日 週1回

部員の殆どが未経験者で、大学からフットサルを始めています。先輩・後輩関係なく仲良く活動しています。放課後、日々の勉強の疲れを解消したり、学年を超えて仲良くなるのを目的として活動しています。活動内容は主にゲームです。男子、女子に分かれてそれぞれ一生懸命にボールを追いかけています。



陸上

代表 工藤 李菜
部員数 ♂3 ♀11
活動日 週1回程度

私たち陸上愛好会は、現在部員14名(男子3名、女子11名)で週1回程度活動しています。活動内容は、夏は外でランニング、冬は体育館でバドミントンなどで、これからの体育館使用時には、ダブルタッチや補強運動なども行う予定です。「陸上って…未経験だし、走るの得意じゃない…」そう思っている人も多いと思います。それでも大丈夫。部員は「運動不足を解消したい」という思いで入っている人がほとんどです。無理のない範囲で楽しくランニングをしています。看護と栄養混合ですが、皆、仲が良かったです。



バドミントン

代表 西村まりや
部員数 ♂30 ♀75
活動日 月2回

みなさん、こんにちは。バドミントンサークルは、月2回大学の体育館で行っています。初心者はもちろん、身体を動かしたい人や経験者などさまざまです。目標として、医療職者としては大切な、健康の増進を目指して行っています。先輩・後輩関係なく、楽しく明るく行っています。



食育ボランティア

代表 東 恒輝
部員数 20
活動日 月2〜3回

食育ボランティアサークルは、1年生と2年生を合わせ20名で活動しています。活動は不定期ですが、各月に1度、地域のイベントで補助を行ったり、食育を広めるため、食にまつわるミニゲームなどを作成し、児童会館で楽しみながら「食」にふれあってもらいました。

現在設立2年目で人が少なく、作業量などは多いですが、人と触れ合い学ぶことも多いです。また、子どもは様々なものに興味を示してくれるので、その「なんで？」に答えられるように勉強しようというモチベーションの向上にもなります。ボランティアを通していろいろな成長ができるサークルだと思います。是非、参加して下さい！



スポーツ栄養

代表 廣谷 梨緒
部員数 ♂4 ♀22
活動日 毎週水曜 昼休み

レバンガに所属しているユースチームからプロのチームの方に対して栄養指導の手伝いをしているサークルです。スポーツ栄養は3年生で受ける講義なので皆知識0からのスタートです。人数が少し多いためチームに分かれ、色々なお題を調べ、話し合い発表をします。さらに、自分達で練習後に食べるおにぎりの具を考えレシピ集を作成したり、疲労回復できるジュースを考案し提供する活動をしていく予定です。今後、プロのチームの人達にも栄養指導していく予定なので日々勉強しています。



▲ バレーボール

▼ 軽音



看護技術向上研究会の活動

代表 後藤 舞香 部員数 ♂8 ♀84 活動日 約月1回(不定期)

現在は、全学年含めて計92人で活動しています。活動頻度は、月に約1回程度不定期で活動しています。バイトや他のサークルと兼任している部員がほとんどなので、両立が不安と心配している方でも負担に感じることはないと思います！

活動内容としては、主に地域で開催されるイベントにボランティアで参加しています。たくさんの地域の方々と触れ合うことで、コミュニケーション能力の向上に繋がると思います。このような貴重な体験ができるのは、看護技術向上研究会だけです！私たちが目指す看護師や管理栄養士などのような、人と関わる職業では欠かせない能力が身に付くことは間違いなしです！



看護学科 2 期生の国家試験結果と就職状況

第 2 期生国家試験結果



第107回看護師国家試験は、
第104回保健師国家試験は、
本学から85名が受験し83名が合格しました。 本学から10名が受験し10名が合格しました。

本学合格率
97.6%
新卒全国平均96.3%

本学合格率
100%
新卒全国平均85.6%

卒業生の就職先

看護 師

〔札幌市内〕 北海道大学病院／札幌医科大学附属病院／市立札幌病院／KKR札幌医療センター／斗南病院／北海道がんセンター／手稲溪仁会病院／NTT東日本札幌病院／札幌厚生病院／JCHO札幌北辰病院／JCHO北海道病院／札幌徳洲会病院／札幌東徳洲会病院／札幌禎心会病院／北海道大野記念病院／勤院協中央病院／JR札幌病院／札幌西円山病院／札幌仁会リハビリテーション病院／札幌北楡病院／恵佑会病院／札幌白石記念病院／カレス札幌時計台記念病院／柏葉脳神経外科病院／愛心メモリアル病院／クワーク病院／北祐会神経内科病院／札幌南一条病院／札幌中央病院／天使病院／愛全病院／札幌札幌病院／北海道整形記念外科病院／札幌山の上病院／五稜会病院

〔北海道内〕 旭川医科大学病院（旭川市）／江別市立病院（江別市）／帯広厚生病院／帯広病院／北斗病院（帯広市）／製鉄記念室蘭病院／日鋼記念病院（室蘭市）／函館病院／函館新都市病院（函館市）／網走厚生病院（網走市）／八雲病院（八雲町）

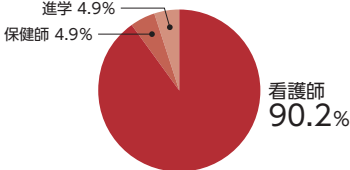
〔北海道外〕 杏林大学医学部附属病院／日本医

科大学病院／東邦大学医療センター大森病院／東京北医療センター／がん研究会有明病院／順天堂医院／NTT東日本関東病院／日本赤十字武蔵野赤十字病院／総合母子保健センター愛育病院／三田病院／〔千葉県〕千葉大学医学部附属病院／東京歯科大学市川総合病院／順天堂大学医学部附属浦安病院／日本赤十字社成田赤十字病院／千葉中央メディカルセンター／新松戸中央総合病院／〔埼玉県〕自治医科大学附属さいたま医療センター／埼玉医科大学病院／埼玉石心病院／〔神奈川県〕昭和大学横浜市北部病院／神奈川県立こども医療センター／湘南藤沢徳洲会病院／横浜新都市脳神経外科病院／新百合ヶ丘総合病院／日立総合病院（茨城県）／神戸市民病院（兵庫県）

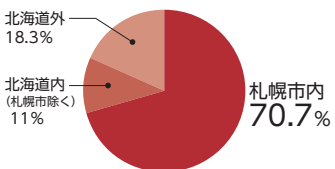
保健 師
北海道職員／留寿都村／仁木町

進 学
札幌医科大学 大学院／天使大学 大学院（助産）（保健師）／日本赤十字社秋田看護大学 大学院修士課程助産学分野

卒業生の職種等別進路
(2017年)



卒業生の地域別進路
(2017年)



平成30年度 入試結果報告

入試区別志願者・受験者・合格者・入学者数

入試区分		学科	募集人数	平成30年度				
				志願者	受験者	合格者	入学者	倍率
推薦入試		看護	45	62	62	48	48	1.3
推薦	前期	栄養	35	10	10	10	10	1.0
	後期			2	2	2	2	1.0
	小計		80	74	74	60	60	
一般前期		看護	40	184	176	133	67	1.3
		栄養	30	16	16	16	5	1.0
		小計	70	200	192	149	72	
一般後期		看護	5	17	16	2	1	8.0
		栄養	5	2	2	2	1	1.0
		小計	10	19	18	4	2	
センター利用 前期		看護	5	79	79	52	7	1.5
		栄養	5	15	15	14	3	1.1
		小計	10	94	94	66	10	
センター利用 中期		看護	3	11	11	1	0	11.0
		栄養	3	1	1	1	0	1.0
		小計	6	12	12	2	0	
センター利用 後期		看護	2	10	10	1	0	10.0
		栄養	2	1	1	1	1	1.0
		小計	4	11	11	2	1	
総計			180	410	401	283	145	